



地区社協の活動と取り組みを紹介します

足羽地区

高齢者と児童との楽しい交流

足羽地区社会福祉協議会

会長 宮原義典

足羽公民館で行っている自治会型デイホーム「すずらん会」では年に2回、地域の足羽小児童の訪問を受け、世代を越えたふれあいの時間を持っています。5年ほど前から毎年春秋の恒例行事になっており、デイホーム訪問は足羽小児童にとっても総合学習の時間を利用した6年生の地域活動として定着しています。

今年1回目は5月に実施され、6年生33人と担任の先生2人が足羽公民館を訪れました。デイホームには地域のお年寄り15人とスタッフ6人が参加しました。

児童代表は「地域の方々とお会いするのを楽しみにしてきました。」とあいさつし、早速、ふれあいタイムで交流しました。児童は二人一組になり、自己紹介をしながら代わる代



わるお年寄りの肩をもみ、腕さすりをしました。あちこちで笑顔が弾み、会場はすぐに打ち解けて和やかな雰囲気になりました。

児童は「肩たたきや腕さすりをしておばあちゃんが『気持ちいい』と言ってくれたのでとてもうれしかったです」「おばあちゃんから『ありがとう』と言われ、心が温かくなりました」などと話し、次回のふれあいを楽しみにする感想も多く聞かれました。一人ひとりに優しい気持ちで芽生え、児童にとっても貴重な体験になったようです。

デイホーム訪問は、児童が地域の中で育ててもらっていることを学ぶ機会としてもとらえられています。高齢者と児童の双方が世代を越えて親しみ、理解し合う行事としてさらに定着させていきたいものです。

麻生津地区

福祉まつり「みんなできつこう 元気なまち あそぼう」

麻生津地区社会福祉協議会

会長 中村正和

麻生津地区社協では、毎年、地区社協単独で「福祉まつり」を開催しています。本年度は6月開催となり、去る6月17日に「みんなできつこう 元気なまち あそぼう」のテーマのもと、にぎやかに行われました。

福井しあわせ元気国体・大会のマスケットキャラクターはびりゅう君の登場に始まり、あさがお児童館の子どもたちによる元気あふれる歌やダンス、鯖江市のご長寿アイドルグループ「SBE80」によるオンステージ、高齢者の皆様による福祉用品体験コーナー等、なごやかな雰囲気会場が包まれました。

さらに、日赤奉仕団の皆様による手作りランチ、介護食の試食のカフェコーナーを楽しんだ後は、『童謡を歌う会』の皆様と一緒に懐かしい歌をうたい、笑顔あふれるひとときを過ごしていただきました。

また、「ちょボラ」と銘打って自分でもできるちよっとだけポランティアとして、福祉まつり当日、ご家庭にあるアルミ缶とベルマークを1本でも1枚でも持って来ていただくように呼びかけました。会場にお持ち

市内49地区社協の活動を順番に自己紹介しています。

いただきましたアルミ缶やベルマークは、麻生津小学校へ提供しました。



プログラム	
9:30-10:00	オープニング式典 あさがお児童館児童のみなさん 元気なまちあそぼう
10:10-11:00	SBE80<カラオケ>オンステージ みんなできつこう 体験コーナー 口よみ予防グッズ体験 高齢者体験
11:30-12:30	福祉カフェ *ランチを楽しむお楽しみ *お花のプレゼント *お花の音プレゼント
13:30	フィナーレ *お花の音プレゼント

コーナーのご案内